



公益社団法人 砥粒加工学会
The Japan Society for Abrasive Technology

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックビル4 F
TEL 03-3362-4195, FAX 03-3368-0902



ABTEC 2020



砥粒加工学会学術講演大会

The Japan Society for Abrasive Technology

2020年9月9-11日

秋田県立大学 本荘キャンパス

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL 0184-27-2000

あきたで

ミガク、ミライ



主催：公益社団法人 砥粒加工学会
協賛：(公社)精密工学会、(一社)日本機械学会、
(公社)応用物理学会、(公社)日本材料学会、
(一社)日本トライボロジー学会、(一社)日本複合材料
学会、(一社)型技術協会、(一財)機械振興協会、
研産布紙協会、タイヤモト工業協会、(一社)日本オ
プトメトリクス協会、(公社)日本セラミクス協会、
(一社)日本アインゼテクノ協会、(一社)表面技術
協会、研削砥石工業会、(一社)日本金型工業会、
日本機械工具工業会、(一社)日本工作機械工業会、
(一社)日本工作機器工業会、日本精密機械工業会、
(一社)日本自動車部品工業会、日本精密測定機器
工業会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本ベア
リング工業会、(一社)日本機械工業連合会、(公
社)自動車技術会、SME日本支部、研産材新報社、
(独)日本学術振興会、レーザ協会、本荘由利テクノ
パーク、秋田県生産技術研究会

2020 年度砥粒加工学会学術講演会 (ABTEC2020) 開催案内

砥粒加工学会 ABTEC2020 実行委員会

記

公益社団法人砥粒加工学会では、砥粒加工を中心とした工具技術、加工技術、加工機械、計測技術、マイクロ・ナノ加工技術など、精密加工技術に関わる最先端情報が収集・交換できる学術講演会 **ABTEC** (Abrasive Technology Conference) を毎年開催しています。1988年以降、今年で33回目を迎える2020年度砥粒加工学会学術講演会 (ABTEC2020) は、**秋田県立大学**での開催となります。大会キャッチフレーズは、「**ミガク、ミライ**」です。東北・秋田の地で、とことん磨き込んだ技術をお持ちよりいただき、交流を深め、輝く未来を創造していきましょう。是非、ABTEC2020にご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、講演申込みや事前参加申込みは例年どおり学会ホームページからの手続きとなります。また講演論文原稿・同時投稿論文原稿はデジタルデータでの提出となります。詳細は砥粒加工学会誌3月号および学会ホームページでお知らせします。

1. 会 期：2020年9月9日(水)、10日(木)、11日(金)
2. 会 場：秋田県立大学 本荘キャンパス
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL 0184-27-2000
3. アクセス：最寄り駅 JR羽後本荘駅から学会用バス (徒歩30分)
https://www.akita-pu.ac.jp/about/access/acs_hnjo

-
- ・講演申込期間：2020年4月1日(水)～5月18日(月)
 - ・論文提出〆切：2020年6月29日(月)※必着
 - ・事前参加登録期間：2020年7月1日(水)～8月14日(金)
-

ものづくりの専門家が秋田に集結！
秋田を、東北を盛り上げるABTEC！
2020年、新しい産学官連携が生まれる！

2020年度砥粒加工学会学術講演会(ABTEC2020)開催案内

砥粒加工学会 ABTEC2020 実行委員会

会期：2020年9月9日(水)、10日(木)、11日(金)

会場：秋田県立大学 本荘キャンパス (秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4)

今年のABTEC2020は、令和2年9月9～11日、秋田県由利本荘市の秋田県立大学 本荘キャンパスにおいて開催いたします。秋田県も協力し、下記のように佐竹知事からも ABTEC 開催の応援メッセージを頂きました。秋田を、東北を盛り上げ、新しい産学官連携が生まれる ABTEC2020 となるように、秋田ならではの企画を準備して、皆様のご参加をお待ちしております。

秋田県・佐竹知事からのメッセージ

来年度、全国各地から多くの皆様をお迎えして、「砥粒加工学会学術講演会」が秋田県で開催されることは誠に喜ばしく、心から歓迎申し上げます。

貴学会におかれましては、1957年の設立以来、今日まで60年以上の長きにわたり、砥粒技術をはじめとして、工具、計測、マイクロ・ナノ加工など、精密加工に関わる技術の進歩に向けた活動を展開されるとともに、積極的に産学官連携を推し進め、日本のものづくり産業の発展に大きく貢献してこられており、その取組に対し深く敬意を表します。

現在、ものづくりの現場は、急激な少子高齢化を背景として、人材不足が深刻な課題となっており、ICT等の活用による現場の効率化や生産性の向上が求められるとともに、Society5.0の実現に向け、AIやIoTなど先端技術への対応が必要となっております。

こうした中、本大会において、研究者・技術者の皆様が、加工に関する新技術や研究成果を数多く発表し、討論や意見交換が行われることは、ものづくり現場をはじめ、我が国の基盤技術の発展に大きく寄与するものと確信しております。

本県では「人口減少社会の克服」を最重要課題に、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく施策・事業を実施しており、産業面においては、航空機、自動車、新エネルギー、医療福祉、情報の5つを今後も拡大が見込まれる成長分野と位置づけ、県内企業の参入促進や競争力強化に向けて重点的な支援を行っているところであり、ものづくり産業の基盤強化につながる皆様の取組と貴学会との連携に大いに期待しております。

秋田県は、世界遺産の白神山地や日本一深く神秘的な田沢湖など雄大で美しい自然に加え、山奥の秘湯「乳頭温泉郷」や、ナマハゲの本場「男鹿温泉郷」など、実に多くの温泉を有しております。

また、本場の「あきたこまち」をはじめ、きりたんぼ鍋、稲庭うどん、いぶりがっこ等の郷土食、おいしい地酒など、豊かな食文化にも恵まれておりますので、ぜひともこの機会にご堪能いただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の成功と貴学会の益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、来年、多くの皆様が秋田にお越しくださることを心よりお待ちしております。



秋田県知事 佐竹 敬久